

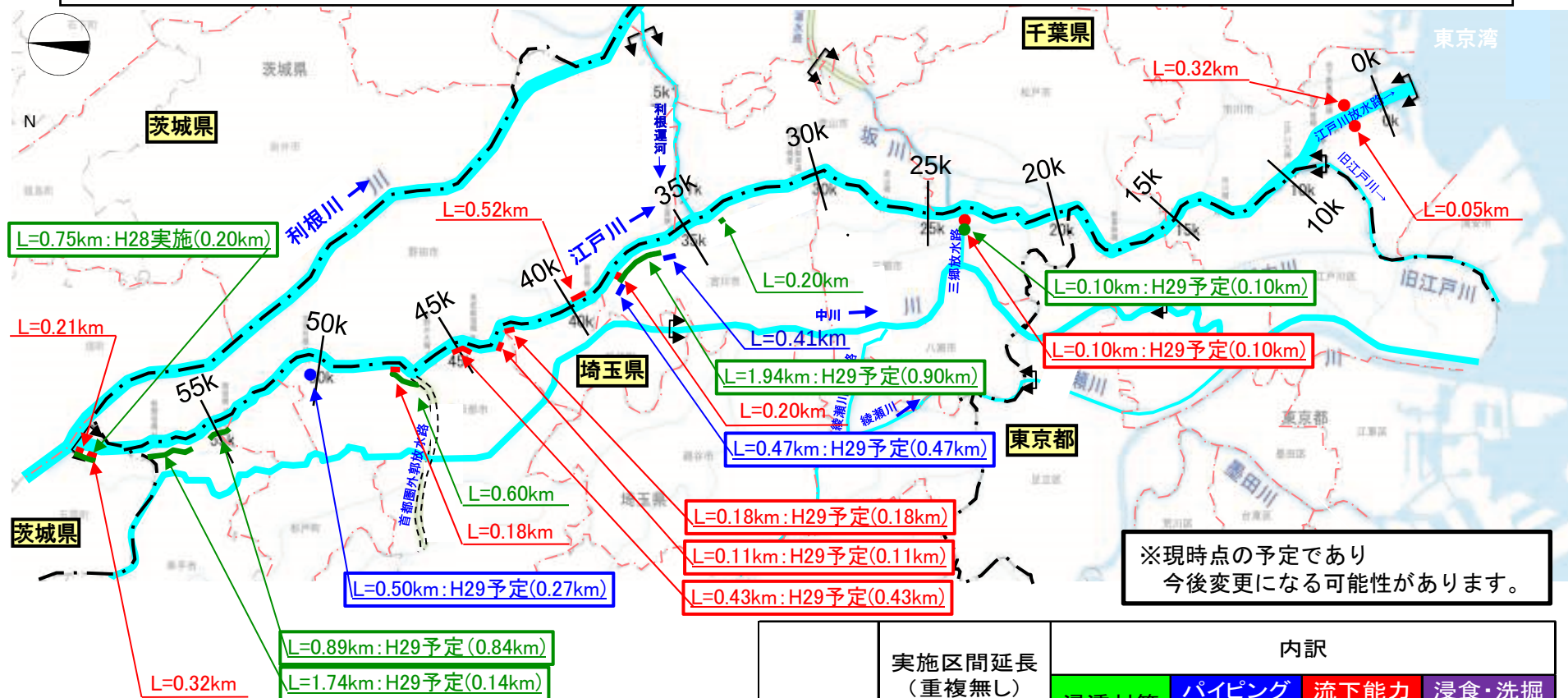
平成28年度における国交省の主な取組

- ①堤防の整備状況（江戸川、中川・綾瀬川）
- ②氾濫危険箇所における簡易水位計及びCCTVカメラの設置状況
- ③ホットラインの強化（第2ホットライン）

① 堤防の整備状況(江戸川)

ハード対策

○江戸川において優先的に実施する堤防整備等(天端舗装含む)



凡 例

○○km : H28実施 (○○km) : () 実施延長

○○km : H29予定 (○○km) : () 予定延長

浸透対策 : 浸透対策

パイピング対策 : パイピング対策

流下能力対策 : 流下能力対策

浸食・洗掘対策 : 浸食・洗掘対策

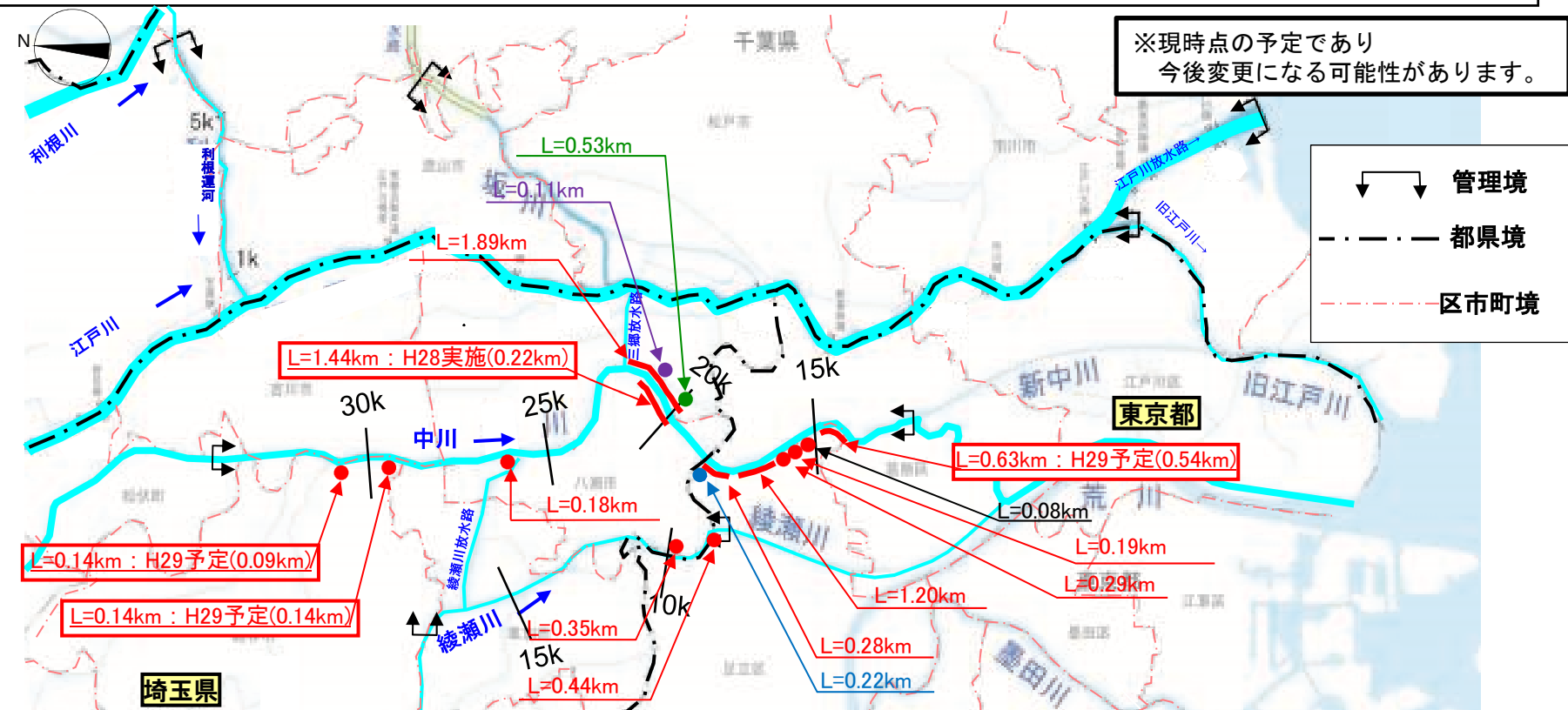
	実施区間延長 (重複無し)	内訳			
		浸透対策	パイピング 対策	流下能力 対策	浸食・洗掘 対策
当初	9.4km	6.2km	1.4km	2.6km	—
H28年度 実施		0.2km	0.0km	0.0km	—
H29年度 予定		2.0km	0.7km	0.8km	—
残延長		4.0km	0.7km	1.8km	—

※四捨五入の関係で、計算値が一致しない場合がある。

① 堤防の整備状況(中川・綾瀬川)

ハード対策

○中川・綾瀬川において優先的に実施する堤防整備等(堤防天端舗装含む)



凡 例

○○km : H28実施 (○○km) : () 実施延長

○○km : H29予定 (○○km) : () 予定延長

浸透対策 : パイピング対策

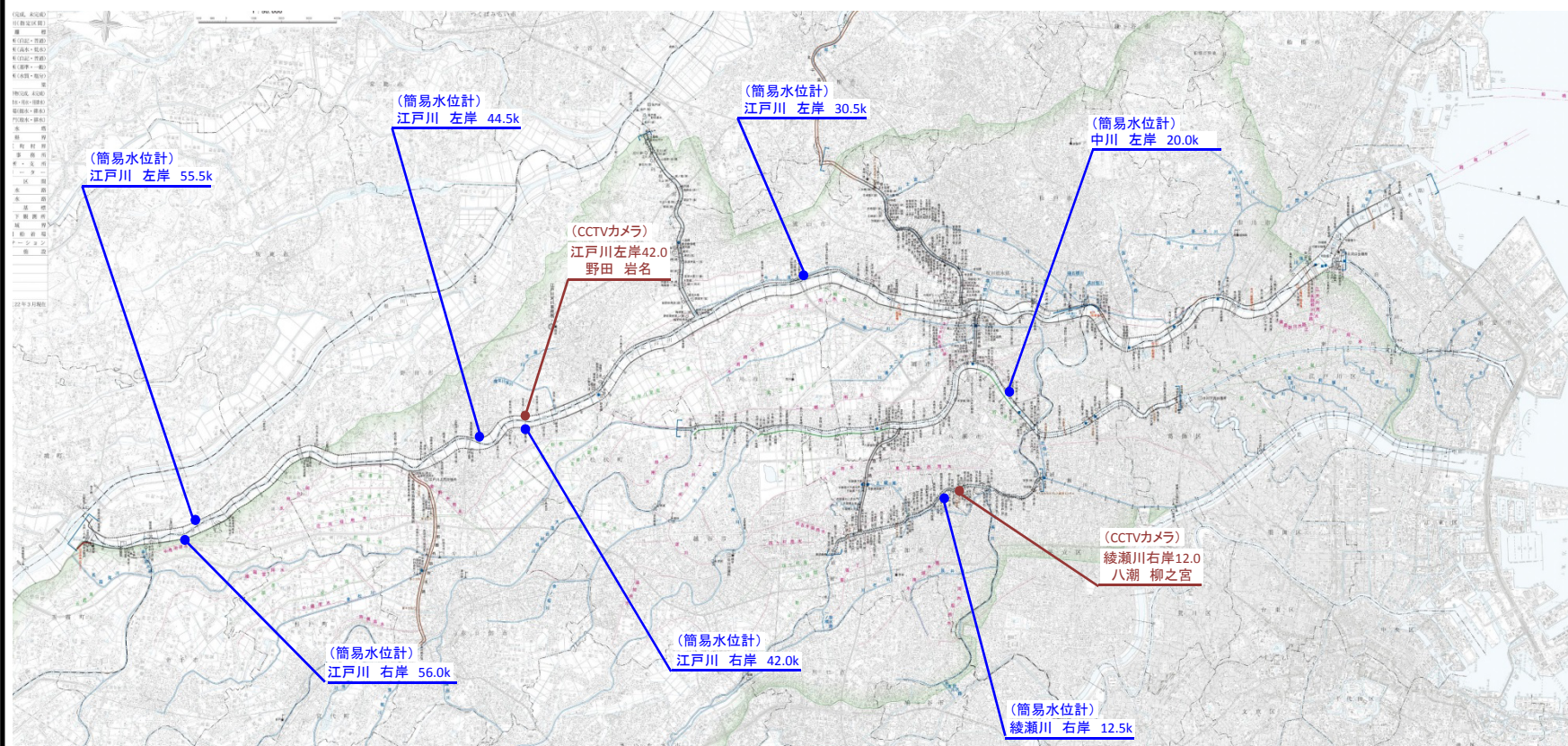
流下能力対策 : 浸食・洗掘対策

	実施区間延長 (重複無し)	内訳			
		浸透対策	パイピング 対策	流下能力 対策	浸食・洗掘 対策
当初	7.2km	0.5km	0.2km	7.2km	0.1km
H28年度 実施		0.0km	0.0km	0.2km	0.0km
H29年度 予定		0.0km	0.0km	0.8km	0.0km
残延長		0.5km	0.2km	6.2km	0.1km

※四捨五入の関係で、計算値が一致しない場合がある。

② 氾濫危険箇所における簡易水位計及びCCTVカメラの設置状況

位置図



【情報提供について】

- ・簡易水位計 = (提供方法): 川の防災情報
- ・CCTVカメラ = (提供方法): 江戸川河川事務所HP

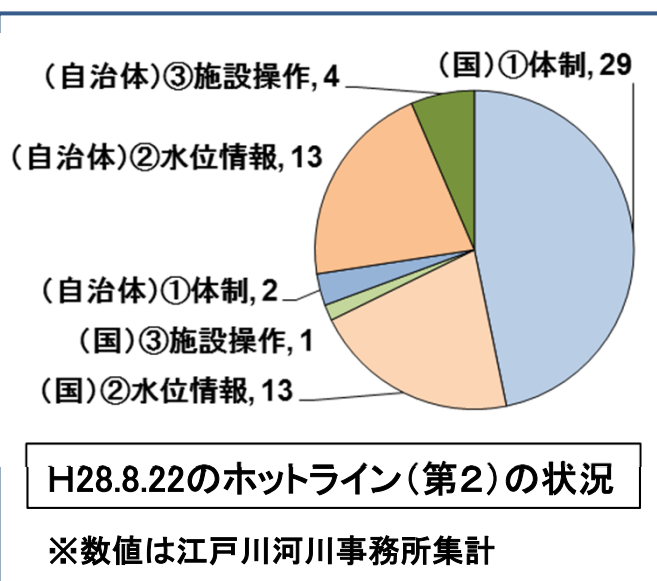
(提供時期): 出水期前まで
(提供時期): 出水期前まで

凡 例	
●	簡易水位計
●	CCTVカメラ

③ ホットラインの強化

○H27年9月関東・東北豪雨の教訓、水防災意識社会再構築ビジョンの取組を踏まえ、沿川自治体とのホットラインの重要性が再認識され、情報を迅速かつ均一に伝達するため、H28年度より各自治体毎に専用の職員を配置し、第2ホットラインの体制を確立。

○H28年8月台風9号では、18自治体との62回の第2ホットライン（国から43回、自治体から19回）により、体制の確保や水位情報、施設操作の情報が相互に共有され、減災に向けた連携の強化が具現化した。（参考：中川吉川地点及び綾瀬川谷古宇地点で水防団待機水位を越える）



【今次出水におけるホットライン（第2）の実例】

○国からの情報

- ・今日の〇〇市のホットライン担当の××です。（体制の確保）
- ・水位が10分間で2cm上昇しており、水防警報を出します。（水位情報）
- ・上流の雨は止んだが、2時間程度は水位を注視して下さい。（水位情報）
- ・首都圏外郭放水路は18:30からポンプ排水開始。（施設操作）

○自治体から

- ・市のホットライン担当が□□から〇〇に変わります。（体制の確保）
- ・どこまで水位が上がりますか。（水位情報）
- ・いつになったら水位が下がりますか。（水位情報）
- ・排水機場は稼働しているのですか。（施設操作）

【出水後の自治体の主な感想】

- ・国と直接話しが出来て安心感がある。
- ・河川や放水路、排水機場の状況が分かる。
- ・すごく役立った。
- ・上流も含めたデータ提供があり、市では水位予測が不可能であるため、対策を取るうえで重要。
- ・困った時にすぐ情報をもらうことが出来る。
- ・本部会議前に情報収集が出来た。
- ・体制の解散の判断が速く出来る。